

保健所における健康危機管理対策について

080718

～藤里町連続児童殺害事件における住民心のケアをとおして～

山本地域振興局福祉環境部
健康・予防課長 佐藤 淑子

事件のあらまし 静かな山里の町営住宅に住む小4女児、小1男児が連続して殺害され、被害児の母親が逮捕。未曾の事件に住民は大きな衝撃と団地周辺を埋め尽くすように大挙して押し寄せたマスコミによる被害に晒された。

1. 目的
町民の事件に関するストレス障害の速やかな回復、及び住民の速やかな心の健康の回復をめざす。
2. 目標
 - (1) 町民に対するPTSD予防のための適切な介入を行う。
 - (2) 被害者に対する二次被害など障害持続の要因を排除する。
 - (3) 役場職員など支援者の二次被害を防ぐ。
3. 支援の実際

	18年度												19年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	6	8	10	12	3						
事件概要	■ 4/9小4女児事件発生 ■ 5/17小1男児事件発生												■ 9～1 公判 ■ 3判決											
初期対応	■ 5/19～健康危機管理についての 情報提供・支援策検討 ■ 5/31～相談窓口の開設 及び相談者への家庭訪問																							
個別訪問 6月～	■ 6/21-23粕毛・朝日ヶ丘団地 111世帯201名 ■ 7/14継続訪問 14名												■ 6/20-22 粕毛・朝日ヶ丘団地 123世帯名199名											
地区別座談会 8月～ (7地区)	■ 8/4粕毛地区(精神科医) 29名 ■ 8/4朝日ヶ丘団地(精神科医) 25名 個別相談2組(4名) ■ 8/28矢坂地区(部長) 21名 ■ 9/12朝日ヶ丘団地・粕毛地区 (精神科医) 15名 個別相談2名 ■ 10/20朝日ヶ丘団地・粕毛地区 (精神科医) 18名 個別相談2名 ■ 11/22朝日ヶ丘団地 (精神科医) 6名 個別相談1名																		■ 8/8粕毛地区 (精神科医) 15名 個別相談3名					
相談所 8月～ (月1回)	■ 7/5-6ハイリスク者相談(県精保セ心理士) 3人 ■ 8/22(同上) 1人 ■ 9/11(同上) 2人 ■ 10/11(同上) 3人 ■ 11/21(同上) 1人 ■ 12/11(同上) 2人 ■ 1/11(同上) 2人 ■ 2/21(同上) 1人												■ 11/15 ■ 12/6 ■ 12/19 精神科医: 延10名											
講演会 12月	■ 12/9 講師: 臨済宗妙心寺派龍源寺 松原 哲明氏 対象: 地域住民 約150名																							
ケース検討会	■ 6/30町関係者他9名 ■ 10/4町関係者他 9名 助言者: 県精神保健福祉センター所長 // 心理士												■ 7/6町関係者他9名 助言者: 県精神保健福祉センター所長 心理士 ■ 3/28 9名 精神科医 大学准教授 県精保セ心理士											
地域ケア会議	■ 7/3 参加: 13機関 27名 スーパーバイザー: 秋田大学准助教授 助言者: 国立保健医療科学院 中板育美主任研究員												■ 11/20 参加: 15機関 32名 助言者: 国立保健医療科学院 中板育美主任研究員						■ 7/18 参加: 16機関 27名 助言者: 精神科医					
支援者研修会	■ 6/30 町関係者 9名 講師: 県精神保健福祉センター長 テーマ: 「支援者の役割」 ■ 7/24 教育・福祉・保健・関係者 45名 講師: 国立保健医療科学院 中板育美主任研究員 テーマ: 「かかわりすぎないかかわりかた」 ～家族を理解することから始まる援助～																							
全体会議	■ 3/28 参加: 5機関 9名 精神科医 大学准教授 県精保セ心理士																							
報告書	■ 3/28												■ 3/31											